

令和4年3月 加茂市長定例記者会見

R4. 3. 2 (水) 10:00

1. 5歳から11歳の方の新型コロナウイルスワクチン接種について

5歳から11歳の方の新型コロナウイルスワクチン接種を、国の方針に基づき、3月8日から希望者を対象に市内の小児科2医院で、個別接種のみで開始いたします。

対象となる方には既に接種券を発送し、新たに5歳になられる方については、年齢に到達する月の前月の初めから順次発送いたします。予約の受付は2月28日から開始し、11歳で3月から6月生まれの方を優先してご案内しています。

予約の方法はコールセンターへお電話をいただくかインターネットで受付をしています。使用するワクチンはファイザー社製の小児用ワクチンで、接種回数は2回、接種間隔は通常3週間となります。

また、新型コロナウイルスワクチンの追加接種については、関係する皆さまのご協力で計画どおり進んでいます。高齢者の方々などに加えて、市内の保育園、幼稚園、こども園の保育士などの園関係者や小・中学校の教職員については優先して接種していますので、ご理解いただきますようお願いいたします。加茂市では、国の接種間隔の前倒し方針に基づき、ワクチン接種を希望する人が5月末までに接種できるよう進めていきたいと思っています。

2. 特別歴史講演会「良寛と加茂」の開催について

加茂市教育委員会では、3月26日午後2時から加茂市産業センター1階ホールで、特別歴史講演会を開催します。

この事業は、加茂の歴史について様々な分野から理解を深めてもらうこと

を目的に平成9年度から実施していますが、昨年、一昨年と新型コロナウイルス感染症の影響により中止となり、今回は2年ぶりの開催となります。

このたび、全国良寛会会長で良寛研究の第一人者である小島正芳（こじままさよし）さんを講師としてお迎えし、「良寛と加茂」という演題でご講演いただきます。

良寛と加茂について、現在は展示しておりませんが、加茂文化会館に市指定文化財である良寛遺墨が23点所蔵されています。また、加茂山公園には良寛歌碑が建立されており、これは良寛の友人で晩年、加茂に隠居した原田鵲齋（はらだ じゃくさい）を思って詠んだ歌と考えられています。

おりしも、本年は文化財指定から35年、歌碑建立から30年となります。この講演をきっかけに、良寛と加茂との関わりについて、理解を深めていただくきっかけになればと思いますので、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

3. 「加茂市の地方創生を考えるセミナー」の開催について

加茂市では、地域資源の一つである「日本酒」をテーマに、産官学金が連携して地域経済の活性化について考えるため、新潟大学と加茂商工会議所の後援により「加茂市の地方創生を考えるセミナー」を、3月24日午後2時30分から産業センターで開催します。

当日は、新潟大学経済科学部准教授の岸保行先生から「日本酒学で拓く加茂市の未来」という演題でご講演いただきます。岸先生は、新潟大学と新潟県酒造組合、新潟県の提携による「新潟大学日本酒学センター」の立ち上げに携わり、現在副センター長を務めていらっしゃいます。

多様な関係者がそれぞれの強みを活かしながら、ともに新たな価値の創造を考えて、地域経済の活性化を目指していくきっかけになればと考えていますので、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

4. 第 56 回雪椿まつりについてです。

先日開催された雪椿まつり実行委員会総会において、今年の雪椿まつりの事業計画が決定しました。新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、今年も恒例の大園遊会やミス雪椿の募集、パレード、バレーボール大会、市民茶会等は行わず、友好都市である東京都大島町の皆さんもお招きしないことになりました。

例年行ってきた神事については、4月9日に青海神社で実行委員会の関係者のみで行います。献花祭については、4月23日に青海神社でいけばな協会の会員のみで行います。

また、昨年に引き続きスマートフォンを使用した非接触型のデジタルスタンプラリーである、「スマホで GoGo！スタンプラリー」を今年も開催いたします。商店街や加茂山、加茂川などに設置された二次元コードを読み込んで、スタンプを集めて応募すると抽選でお食事券や特産品等が当たります。開催期間は4月9日から5月8日までを予定しています。今年は「ARuKAMO（アルカモ）」という加茂市の情報発信アプリを使用します。スタンプラリーに加え、歩数管理、マップ機能、市内の店舗情報表示などの機能を併せ持ったアプリで、現在、加茂市内の企業が公開に向けて準備中です。

また、加茂市初の地域おこし協力隊の松本悠雅さんから雪椿まつりのアンバサダーに就任していただき、SNSを通じて情報発信を行います。

次に、「雪椿まつり Web フォトコンテスト」についてです。これは、新町雁木通り商店街部門、加茂川鯉のぼり部門、加茂山部門として Web フォトコンテストを行うものです。応募期間は4月9日から5月15日までですが、写真の撮影時期は問いません。部門ごとに賞品を用意しますが、特に新町雁木通り商店街部門は、商店街大通り交互通行化を記念しての開催ですので、特別に豪華な賞品が用意される予定です。

このほか、商店街の飲食店等が連携し、雪椿や鯉のぼりをモチーフにした

メニューや商品を提供することで、スタンプラリーやまち歩きをより楽しくする「かもハルを楽しもう！！雪椿ばかうんめえフェア」も計画中で、期間は4月9日から5月8日までの予定です。

これら各事業の詳細については、雪椿まつり専用のホームページやチラシ等でお知らせしていくよう準備中です。

また、加茂青年会議所においても、加茂山を舞台に子どもたちがクイズに挑戦していく「トレジャーハンティング カモレンジャーと大海賊の秘宝」を4月17日から5月8日まで開催する予定です。詳細はホームページや今後制作するパンフレット等でお知らせしていきます。

新型コロナウイルスにより社会には様々な変化が生じましたが、加茂山の雪椿や桜は今年も変わらずに、素晴らしく咲き誇るものと思います。恒例の事業や大島町の皆さんをお呼びできず残念ではありますが、「コロナ禍でもできること」を実行委員会の皆さまと共に考え、共に取り組み、大勢の皆さまから雪椿まつりを通じて春の加茂をめいっぱい楽しんでいただけるよう、準備を進めて参りたいと思います。

加茂市の地方創生を 考えるセミナー

◆テーマ◆

「日本酒学が拓く加茂市の未来」

加茂市では、持続的な地域経済の発展や雇用の創出を図るため、地域資源の一つである「日本酒」をテーマに、産官学金連携による地域経済の活性化について考えるセミナーを開催します。多様な関係者がそれぞれの強みを活かしながら、共に新たな価値の創造を目指すため、各方面のみなさまの参加をお願いします。

日時

2022年3月24日(木)
14:30～16:00(開場14:00)

会場

加茂市産業センター(ホール)
(加茂市幸町2-2-4)

申込

申込不要・参加費無料

どなたでも参加できます。
当日、会場へお越しください。

内容

▶主催者あいさつ 加茂市長 藤田 明美

▶講演

テーマ:「日本酒学が拓く加茂市の未来」

講師:新潟大学経済科学部准教授 岸 保行氏
(日本酒学センター副センター長)

▶質疑応答



日本酒学
Sakeakisu

Profile



新潟大学
日本酒学センター
Sakeakisu Center, Niigata University

2012年に新潟大学に着任し、人的資源管理論および組織行動論を担当。新潟の文化的資源である日本酒の魅力国内外に発信するプロジェクトを創案。新潟大学と新潟県酒造組合、新潟県の提携による「新潟大学日本酒学センター」の立ち上げに携わる。



ご注意

新型コロナウイルスの感染予防にご協力をお願いします。

- ①マスクの着用、手指の消毒をお願いします。
- ②当日、平熱よりも体温が高い、体調がすぐれない場合はご入場をお控えください。
- ③ご入場前の検温、来場者の記録(名前・連絡先)にご協力ください。

講演では、日本酒学センターの取組状況や研究成果などを紹介させていただくとともに、関係者がそれぞれの強みや地域資源を活かしながら共に新たな価値を創造する地域共創活動を展開し、地域創生につなげていく際の参考事例としてお話をさせていただきます。